

 評価のポイント

CL-IV. 専門的、倫理的、法的な実践能力（精神科）

[1-4] 虐待ゼロに向けて

「虐待ゼロにむけた対策」として、次の①～④について皆さんの施設の実情を調査してください

- ① 「内部調査」の観点から、アンケートや意見箱の投書などはどのように取り上げられ、どのように対処されているか、実際に担当者からの聞き取りを行い、その評価を行う
- ② 「外部への公表」の観点から、アンケートやチェックシートの結果をどのように処理しているのか、またそれを現時点の虐待対策の指標として活用しているのか、それを外部に公表する機会はあるのかなどを確認する
- ③ 「管理者教育」の観点から、クライシスマネジメントを意識した研修を取り入れているかを確認する
- ④ 「本気の取り組み」として、組織風土、隠ぺい体質、ハラスメント、同調圧力等を取り上げ、本気で取り組むためには、それらについてどのように対処するかを検討する

ここでの話し合いは、まだ十分に取り組んでいない組織、体裁は整えたが機能していない対策など、組織や上司への批判になる恐れがあります。その現状を踏まえて、今そしてこれからできることを考えていきましょう。

- ① 内部調査を機能させることはとても難しいことです。できていないことではなく、どのように取り組みたいかを引き出してください
- ② アンケートやチェックシートの結果をオープンにすることは、組織の承認が必要です。いきなり院外ではなく、病棟内や病棟間など身近なところから始めるといいでしょう
- ③ 実際にクライシスマネジメントの研修を企画して受けてみましょう、それをどのように虐待防止対策に活用できるかを体験してみましょう
- ④ 組織風土、隠ぺい体質、ハラスメント、同調圧力等は決して悪いことではなく、組織を作り維持していく過程では必要なものだという事を踏まえてください。そのうえで何をどのように変えていくかということを話し合ってください